

問1 琵琶湖から流れ出る水が都市部で利用される仕組みや、その管理のあり方について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2024年 徳島県公立入試 類似)

1. 浄水場での技術が向上したため、水源である琵琶湖や河川的环境保全に取り組む必要性はなくなっている。
2. 琵琶湖から大阪湾に至るまでの河川では、水害を防ぐための治水よりも、水力発電による電力供給が最優先されている。
3. 琵琶湖の水は主に農業用水としてのみ利用され、都市部の生活用水はすべて海水を淡水化したものを使用している。
4. 琵琶湖から流出した水は、河川を経由して各地の浄水場で飲み水などに適した処理が施された後、京阪神の各家庭へ供給される。

問2 兵庫県の産業や社会指標の特徴について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 県内全域で宅地造成が進んでいるため、住宅一戸建率が近畿地方の府県の中で最も高い数値を示している。
2. 重要文化財の指定件数が全国で最も少ないため、観光業よりも重化学工業への依存度が極端に高い。
3. 阪神工業地帯などの影響で工業製品出荷額が高く、都市部では集合住宅が多いため住宅一戸建率は低い。
4. 広大な農地を活かした農業産出額が工業製品出荷額を上回っており、農村部が多いため住宅一戸建率が高い。

問3 フランスからの旅行者の訪問率を都道府県別に分析したデータにおいて、東京都や大阪府といった大都市圏のほかに、近畿地方の奈良県、中国地方の広島県、関東地方の栃木県、中部地方の岐阜県などで訪問率が高い傾向が見られます。これらの地域に共通する、外国人観光客を引きつける背景として最も適切なものはどれですか。 (2016年 広島県公立入試 類似)

1. 新幹線の全列車が停車するような大規模なターミナル駅を有すること
2. 冬場の積雪量が非常に多く、スキーなどのスノーレジャーが盛んなこと
3. 大規模な商業施設やテーマパークが集中していること
4. 世界文化遺産に登録された歴史的な建造物や街並みが存在すること

問4 阪神工業地帯の中核を担う大阪府の工業について、製造品出荷額の構成比や産業の特色を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)

1. 輸送用機械の出荷額が突出して大きく、沿岸部には大規模な自動車工場や関連工場が集中している。
2. かつては「東洋のマンチェスター」と呼ばれたように、現在も繊維工業が出荷額の過半数を占めている。
3. 飲料・飼料などの食料品工業が中心であり、重化学工業の出荷額は全国平均を大きく下回っている。
4. 金属製品の出荷額が大きく、一般機械や電気機械などの機械工業とともに地域の中心となっている。

問5 近畿地方の滋賀県と奈良県について、1998年から2018年の20年間における人口動態を比較したとき、滋賀県に見られる特徴として最も適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)

1. 大阪市など近隣都市への人口流出が激しいため、20年前よりも大幅に人口が減少している。
2. 2000年代前半をピークに人口が減少傾向にあり、高齢化の影響で70歳代の男女の割合が比較的高い。
3. 20年前と比べて人口は横ばいだが、15歳未満の年少人口の割合が近畿地方で最も高くなっている。
4. 20年前に比べて人口が増加しており、他県からの移住などの影響で40歳代の男女の割合が比較的高い。

問6 滋賀県にある主要な城郭の変遷をたどると、戦国時代初期の小谷城などは険しい山の上に築かれていましたが、その後の長浜城、彦根城、安土城、大溝城、坂本城はいずれも琵琶湖の湖岸近くに位置しています。このように、有力な武将たちが拠点を湖岸へと移っていった歴史的背景に関連する記述として、誤っているものはどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)

1. 城の周囲に水を引き込んだり湖に面したりすることで、敵による包囲や攻城を困難にする防衛上の利点があった。
2. 当時は鉄砲が伝来する前であったため、矢の届かない広い水面を確保して安全に生活することが唯一の目的であった。
3. 船を活用することで、陸路よりも大量の兵員や重い軍需物資を迅速に輸送することが可能であった。
4. 湖上の交通の要所を支配することで、年貢や特産物の流通を管理し、経済的な利益を得る目的があった。

問7 滋賀県に位置する日本最大の湖である琵琶湖は、近畿地方において「近畿の水がめ」と称されることがあります。このように呼ばれる理由として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 京阪神地域の住民や産業に対し、飲料水や工業用水を供給する重要な水源だから
2. 水深が非常に深く、日本で最も多くの淡水魚を養殖している供給源だから
3. 古くから北陸地方と瀬戸内を結ぶ水上交通の中継地として、物流の拠点だったから
4. 周囲の山々から流れ込む豊富な水を利用して、滋賀県が日本最大の米の産地となったから

問8 兵庫県を日本海側から瀬戸内海側まで南北に縦断した際の、地形の変化を示す断面図の特徴を説明したものととして最も適切なものはどれですか。なお、この地形は北と南の両端に平野部があり、その間に険しい山地が位置し、さらに山地の間には標高の低い区域が含まれるものとします。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)

1. 県の中央部には広大な扇状地が広がり、日本海側から瀬戸内海側まで標高の変化がほとんどない平坦な地形が続いている。
2. 日本海側には急峻な山地が迫っているが、そこから瀬戸内海側にかけては遮る山地がなく、なだらかな下り坂の平野が続いている。
3. 南北の沿岸部に平野が広がり、中央部には中国山地などの山々が連なるが、その山間部には盆地や谷が形成されている。
4. 県全体が六甲山地を中心とした高い山々に覆われており、沿岸部に平野は存在せず、すべて断崖絶壁の海岸線となっている。

問9 日本の諸地域に関する統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり500人を大幅に超え、かつ昼夜間人口比率が100%を超過している大阪府の人口動態について、その要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)

1. 広大な住宅地が整備されたベッドタウンとしての性格が強く、夜間に帰宅する居住者が多いため。
2. 大規模な漁港と加工場が隣接しており、夜間の操業に合わせて他地域から労働者が流入するため。
3. 都市近郊農業が盛んであり、収穫時期に合わせて周辺地域から多くの農業従事者が一時的に移住するため。
4. 近畿地方の中心地として都市機能が集中しており、周辺の府県から多くの通勤・通学者を受け入れているため。

問10 近畿地方の農業に関する統計において、ある府県の果実産出額が六百七億円に達し、他の府県と比較して突出した数値を示している資料があります。この府県は高い林野率と長い海岸線を併せ持っていますが、ここで温暖な気候と傾斜地を活かして大規模に栽培されている果実を選びなさい。 (2016年 愛知県公立入試 類似)

1. りんご
2. ぶどう
3. さくらんぼ
4. みかん

問11 2017年の統計に基づき、近畿地方の各府県における65歳以上人口の割合を比較した際、その割合が24%から27%の範囲にあり、近畿地方の中で最も高齢化率が低い県と、その県庁所在地の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)

1. 和歌山県 — 和歌山市
2. 三重県 — 津市
3. 滋賀県 — 大津市
4. 奈良県 — 奈良市

答え合わせ・解説

問1	答え 4 琵琶湖から流出した水は、河川を経由して各地の浄水場で飲み水などに適した処理が施された後、京阪神の各家庭へ供給される。	琵琶湖から流れ出す淀川水系の水は、都市部の生活を支える水源として不可欠です。浄水場において不純物の除去や消毒を行うことで、安全な水道水が供給されています。また、下流域の住民が安定して良質な水を利用し続けるためには、上流域にあたる琵琶湖の水質汚濁防止や森林保全などの環境対策が非常に重要です。
問2	答え 3 阪神工業地帯などの影響で工業製品出荷額が高く、都市部では集合住宅が多いため住宅一戸建率は低い。	兵庫県は、南部を中心に工業化と都市化が非常に進んでいる県です。工業面では瀬戸内海沿岸を中心に大規模な工場が集積し、高い出荷額を誇ります。居住環境については、利便性の高い都市部に人口が集中し、効率的な土地利用として集合住宅が選ばれることが多いため、統計上、住宅一戸建率は低くなります。また、歴史的建造物も多く、文化財の多さと工業の発展が共存している点も大きな特徴です。
問3	答え 4 世界文化遺産に登録された歴史的な建造物や街並みが存在すること	フランスからの旅行者は日本の歴史や伝統文化に対する関心が非常に高いことが知られています。奈良県の「法隆寺地域の仏教建造物」や「古都奈良の文化財」、広島県の「厳島神社」、栃木県の「日光の社寺」、岐阜県の「白川郷・五箇山の合掌造り集落」のように、世界文化遺産がある地域は、日本の歴史的な文化財を求める旅行者の主要な目的地となっています。
問4	答え 4 金属製品の出荷額が大きく、一般機械や電気機械などの機械工業とともに地域の中心となっている。	大阪府が中心となる阪神工業地帯は、戦前から金属工業や機械工業が発達してきました。現在でも統計上、金属製品の製造品出荷額が他の都道府県に比べて高い水準にあり、機械工業と並んで大阪の工業を支える重要な柱となっています。一方で、かつて盛んだった繊維工業の割合は低下しており、輸送用機械については栃木県などの内陸県や東海地方の方が高い割合を示す傾向があります。
問5	答え 4 20年前に比べて人口が増加しており、他県からの移住などの影響で40歳代の男女の割合が比較的高い。	滋賀県は京阪神のベッドタウンとしての機能を持っており、他県からの流入を含めて1998年から2018年の間に人口増加を実現しました。人口構成においても、子育て世代を含む40歳代の層が膨らんでいるのが特徴です。一方、選択肢にある「2000年代前半をピークに減少」「70歳代の割合が高い」という説明は奈良県の特徴に該当します。
問6	答え 2 当時は鉄砲が伝来する前であったため、矢の届かない広い水面を確保して安全に生活することが唯一の目的であった。	安土城や長浜城が築かれた時代は、すでに鉄砲が合戦の主力となっており、城の構造も鉄砲戦を意識したものに变化していました。湖岸への立地移動は、単なる安全確保（生活の場）のためではなく、水運による「流通の支配」と「迅速な軍隊移動」という、天下統一に向けた政治的・経済的な戦略に基づいたものです。一方、以前の山城（小谷城など）は、交通の利便性よりも山岳地形を利用した防御に特化したものでした。
問7	答え 1 京阪神地域の住民や産業に対し、飲料水や工業用水を供給する重要な水源だから	琵琶湖は単に面積が広いだけでなく、その豊富な蓄えられた水が下流の京都府、大阪府、兵庫県といった都市部に供給されていることが大きな特徴です。このように特定の地域全体の飲料水や用水を支える役割を担う場所を、貯水槽に例えて「水がめ」と呼びます。
問8	答え 3 南北の沿岸部に平野が広がり、中央部には中国山地などの山々が連なるが、その山間部には盆地や谷が形成されている。	兵庫県は南北に長い地勢を持ち、北は日本海、南は瀬戸内海に面しています。地形の断面を見ると、両方の海沿いに平野が発達している一方で、中央部には中国山地や丹波高地が東西に走っています。この山地の中には河川の働きなどによって形成された盆地や谷が存在しており、これが内陸部の居住地や交通の拠点となっています。
問9	答え 4 近畿地方の中心地として都市機能が集中しており、周辺の府県から多くの通勤・通学者を受け入れているため。	大阪府は近畿地方の経済や教育の中心地であり、多くの企業や学校が集まっています。そのため、兵庫県、奈良県、和歌山県といった周辺の地域から、日中に仕事や通学のために移動してくる人が非常に多いのが特徴です。この結果、夜間にその場所に住んでいる人数（夜間人口）よりも、昼間に滞在している人数（昼間人口）の方が多くなり、昼夜間人口比率が100%を超えるという現象が起こります。人口密度も全国的に見て極めて高い水準にあります。
問10	答え 4 みかん	和歌山県は、黒潮の影響を受けた温暖な気候と、県土の多くを占める傾斜地を有効に活用しています。特に水はけが良く日光が当たりやすい斜面はみかんの栽培に最適であり、近畿地方において圧倒的な果実産出額を誇る要因となっています。
問11	答え 3 滋賀県 ― 大津市	近畿地方において、滋賀県は京都府や大阪府といった大都市圏に隣接しており、県庁所在地の大津市などを中心にベッドタウンとしての機能を持っているため、他の府県と比較して高齢者の割合が低く保たれているという特徴があります。一方で、選択肢にある和歌山県などは滋賀県に比べて高齢化率が高い傾向にあります。